

漁海況情報

2020年(令和2年)10月 第575号

沖縄県水産海洋技術センター
901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528
電話：098-852-4530・4531 FAX：098-852-4533

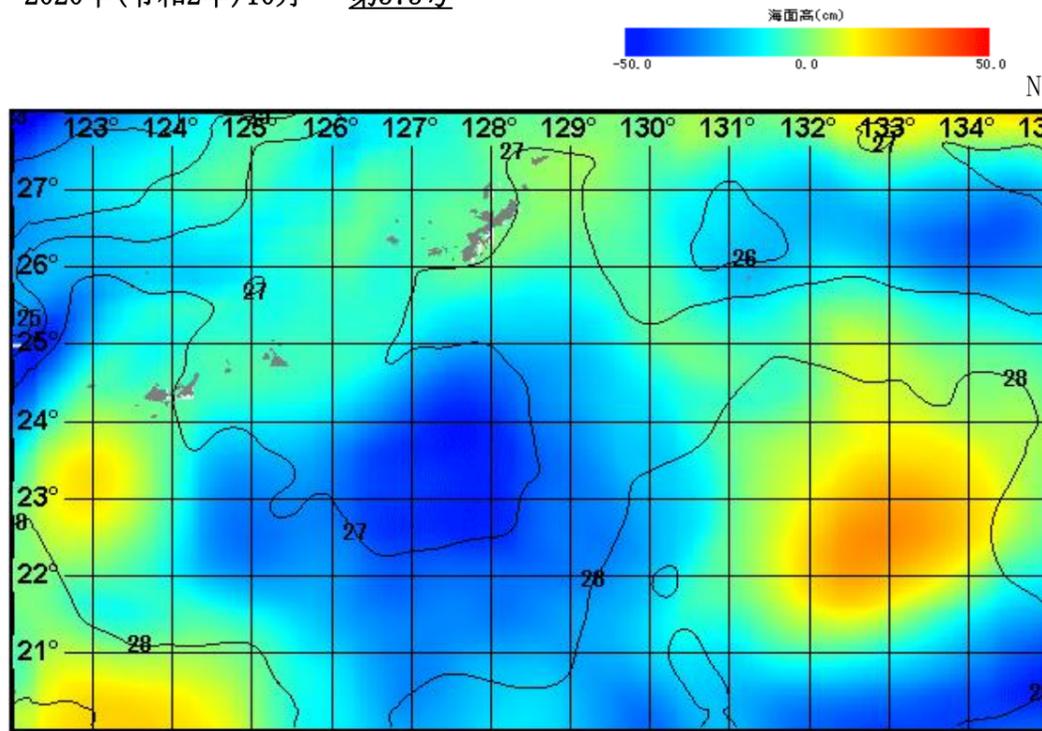


図1. 海況案内人による表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2020年10月31日)

海況案内人の最新情報は下記URLで行っています。
URL:<http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
携帯電話からのアクセスは右のQRコードを利用してください。

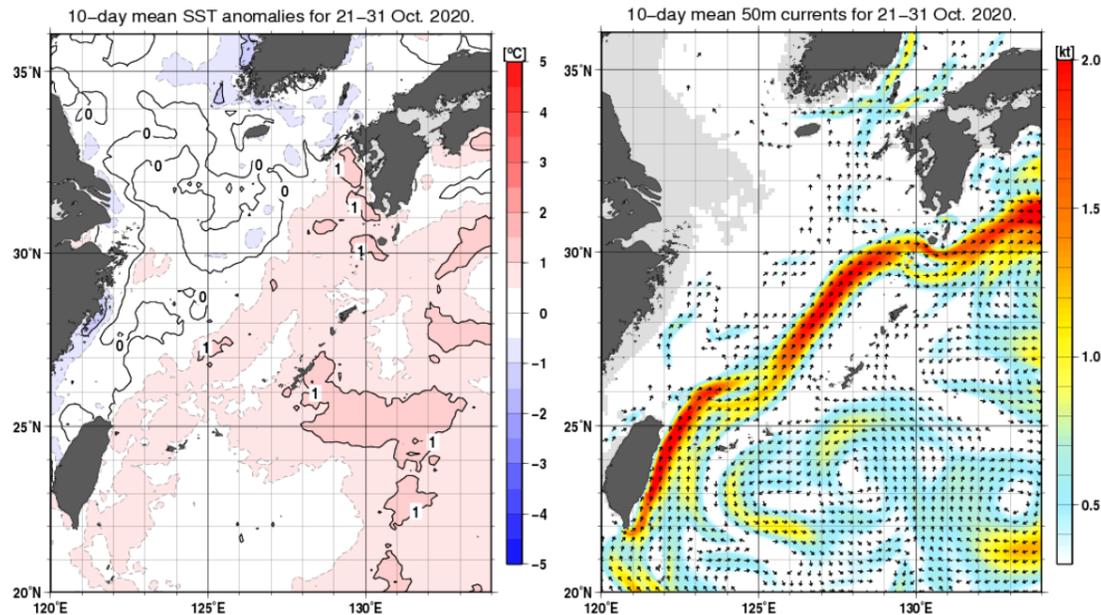


図2. 2020年10月下旬海面水温偏差図(左)及び海流図(気象庁HPより)

漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域ではキハダ、シイラ、伊良部ではキハダ、シビ、カツオの水揚げが多かった。

表1. 10月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ 総漁獲量
シイラ	4.4	1.2	1.1	0.3	6.9	3.5	42.0
カカジキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サワラ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	1.3
カツオ	0.2	0.0	0.2	0.0	0.4	7.7	11.3
キハダ	20.2	2.5	1.7	0.6	25.0	10.7	164.6
シビ	0.9	0.6	0.7	2.3	4.5	9.5	23.7
メバチ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	25.8	4.3	3.7	3.3	37.0	31.3	242.8

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2. 6~10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2016年	50.0	34.9	34.1	33.1	18.8	170.8
2017年	30.6	34.9	24.1	26.1	16.0	131.7
2018年	19.1	48.6	47.9	43.8	21.2	180.6
2019年	30.6	88.9	51.1	32.9	47.3	250.8
2020年	72.7	83.3	65.7	54.8	25.0	301.5

表3. 6~10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2016年	5.5	7.2	3.6	6.8	4.5	27.6
2017年	13.8	6.3	12.9	14.1	5.6	52.8
2018年	9.8	9.6	6.8	12.4	13.3	51.9
2019年	8.3	14.2	10.5	6.4	8.6	47.9
2020年	15.8	8.8	2.3	7.5	4.5	38.9

表4. 6~10月のシイラ漁獲量(t)
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2016年	0.7	0.1	0.1	1.2	10.4	12.7
2017年	1.9	0.1	0.4	2.5	1.4	6.4
2018年	0.9	0.2	0.6	1.4	7.0	10.1
2019年	2.1	0.4	0.4	1.8	6.9	11.5
2020年	0.8	0.2	0.3	2.7	6.9	11.0

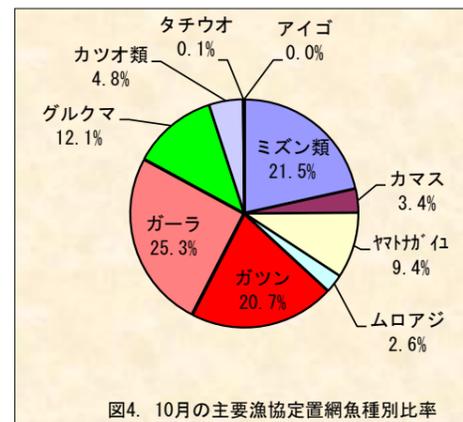


図4. 10月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網：10月の全体の漁獲状況は7,705.8kgで、先月(7,028.5kg)と比べて増加した。主要漁協の漁獲ではガーラ、ミズン類、ガツンで約7割を占めた。

注記：統計数値は、小数点第二位以下を四捨五入したため、計と内訳が一致しない場合があります。



タカサゴ(グルクン)

糸満ではキハダが20.2t、シイラが4.4t、港川ではキハダが2.5t、シイラが1.2t漁獲された。知念では、キハダが1.7t、シイラが1.1t、シビが0.7t漁獲された。沖縄市ではシビが2.3t、キハダが0.6t漁獲された。また伊良部では、キハダが10.7t、シビが9.5t、カツオが7.7t漁獲された(表1)。

沖縄本島南部海域における過去5年間の6~10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2~4に示した。更に過去4年間の1~12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

10月のキハダの漁獲量は25.0tで、9月(54.8t)に比べて29.8t減少、昨年の10月(47.3t)と比較し22.3t減少した(表2、図3)。シビの漁獲量は4.5tで、9月(7.5t)と比べて3.0t減少した(表3)。シイラの漁獲量は6.9tで、9月(2.7t)と比べて4.2t増加した(表4)。

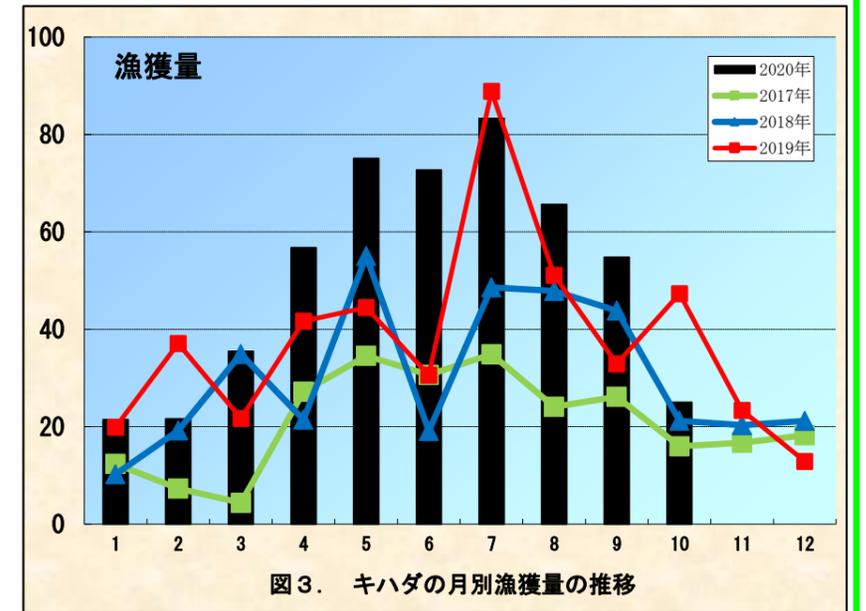


図3. キハダの月別漁獲量の推移

表5. 10月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置			合計	県内定置 総漁獲量
	読谷	知念	国頭	名護	勝連	与那城		
ミズン類	48.0	0.0	50.6	1,544.1	0.0	0.0	1,642.7	1,656.7
カマス	142.6	0.0	88.9	24.1	0.0	0.0	255.6	256.1
ヤマトガイ	279.9	0.0	382.7	49.2	0.0	1.9	713.7	713.7
ムロアジ	145.8	0.0	10.5	42.5	0.0	0.0	198.8	198.8
ガツン	1,105.8	0.0	446.8	28.5	0.0	0.0	1,581.1	1,581.1
ガーラ	1,134.0	0.0	740.7	47.6	0.0	11.3	1,933.6	1,961.8
グルクマ	537.7	0.0	372.4	13.3	0.0	0.0	923.4	935.3
カツオ類	251.6	0.0	100.5	7.2	0.0	7.7	367.0	367.0
タチウオ	0.0	0.0	4.7	6.0	0.0	0.0	10.7	12.2
アイゴ	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	23.1
合計	3,645.4	0.0	2,197.8	1,765.5	0.0	20.9	7,629.6	7,705.8

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。